

場所：

調査回数	第 回	特定空家・管理不全空家等調査票	調査日時 令和 年 月 日			調査者名	
①倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態						管理番号	※該当しない項目は加算しない
項目	箇所	内容	影響度 低（×0）	影響度 中（×0.5）	影響度 高（×1）	評価点	判定基準点
建築物 (420)	基礎	基礎に不同沈下がある（50）	不同沈下なし	不同沈下あり	不同沈下があり、損傷もある		50
		基礎が破損又は変形している（50）	破損等なし	ひび割れがある	ひび割れがあり、鉄筋が露出している		50
	土台	土台に破損又は変形がある（30）	破損等なし	一部破損がある	大きな破損等がある		30
	基礎及び土台	土台と基礎にずれがある（30）	ずれなし	-	ずれがある		30
	柱	破損している（50）	破損等なし	一部破損している	著しく破損している		50
		傾斜している（50）	傾斜なし	-	傾斜している		50
	屋根	屋根の腐朽・飛散等がある（50）	腐朽等なし	一部腐朽等がある	腐朽等により屋根が崩落している		50
	ひさし又は軒	腐朽・破損・飛散等がある（10）	腐朽等なし	-	腐朽等がある		10
	外壁	剥離・腐朽・飛散等がある（30）	腐朽等なし	一部腐朽等がある	大きな腐朽等がある		30
	看板・遮風設備・浄化槽	破損・脱落・転倒の状態がある（10）	破損等なし	看板等の支柱部分に一部破損がみられる	支柱等の破損により脱落、転倒している		10
	屋外階段・バルコニー	腐朽・破損等がある（10）	腐朽等なし	腐朽等の部分が小さく修理可能	腐朽等の部分が大きく大規模改修が必要		10
	門・塀	腐朽・破損等がある（50）	腐朽等なし	腐朽等があるが倒れていない	腐朽等によって、転倒、崩落の状態がある		50
擁壁 (80)	擁壁	クラックや水のしみ出しがある（30）	クラックや水のしみ出しはない	クラックや水のしみ出しが小さい若しくは少数確認できる	クラックや水のしみ出しが大きい若しくは複数確認できる		30
		はらんできている（50）	問題なし	-	はらんできている又は露出になってきている		50
立木 (50)	立木 (2～3m)	大枝の剪定がされず、折れ・腐朽等がある。（50）	折れ等なし	一部折れ等がある	複数個所に折れ等がある		50
その他 (230)	隣接地への影響（50）		45° > 建物	-	45° < 建物		50
	接道への影響（50）		45° > 建物	-	45° < 建物		50
	土砂災害計画区域（イエローゾーン）にある。（50）		区域外	-	区域内		50
	耐震基準の新旧（30）		S56以降	-	S56以前もしくはわからない		30
	近隣からの苦情が市役所に寄せられている（50）		ない	-	ある		50
特記事項	判定結果				評価点合計		A
	苦情内容：	50%以上→□特定空家等			判定基準点（最大780点）		B
		50%未満→□管理不全空家等か空家等 2次判定に進む			特定空家等判定（%）		

【2次判定】

項目	箇所	内容	影響度 低（×0）	影響度 中（×0.5）	影響度 高（×1）	評価点	判定基準点
その他	悪影響の程度、悪影響を受ける周辺環境、危険等の切迫性、その他地域の実情による影響度（100）		低い	中程度	高い		100
特記事項	判定結果				評価点合計 A + 2次判定点数		
	苦情内容：	45%以上→□管理不全空家等			判定基準点 B + 100（最大880点）		
		45%未満→□空家等			管理不全空家等判定（%）		